

新潟大学佐渡 3 施設合同学生発表会

佐渡島にある新潟大学の 3 施設 (農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション演習林, 研究推進機構 朱鷺・自然再生学研究センター, 理学部附属臨海実験所) で研究を行っている学生の発表会を行います。一般の方の参加も歓迎します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

2017 年 2 月 28 日 (火) 14:00~17:10

新潟大学理学部附属臨海実験所 講義室 (佐渡市達者 87)

1. 卒業論文発表

14:00~14:15 片山 瑠衣 (農学部 佐渡ステーション)

ユキツバキの花形質はポリネーターである昆虫に対して適応的か

14:15~14:30 内木 翔大 (農学部 佐渡ステーション)

佐渡島におけるヒノキアスナロ林の多様な群落構造

14:30~14:45 古郡 憲洋 (農学部 佐渡ステーション)

伝統的な里山・棚田景観における土壌動物群集を用いた環境指標の開発

14:45~15:00 伊藤 菜美 (農学部 佐渡ステーション)

溪畔林の林床植生に及ぼす溪流攪乱の影響

15:00~15:15 井田 勇也 (農学部 佐渡ステーション)

窒素循環から見た里山の評価手法の開発

15:15~15:30 佐藤 鴻志郎 (理学部附属臨海実験所)

クサフグの半月周性産卵リズムに関する研究

2. 修士研究発表

15:50~16:10 武藤 公樹 (農学部 佐渡ステーション 修士 1 年)

オオミスミソウの常緑葉の機能について

16:10~16:30 伊藤 岳 (理学部附属臨海実験所 修士 1 年)

近縁種に交尾型、非交尾型を有する海産カジカ科魚類の系統種間比較とプロテオーム解析

16:30~16:50 小黒 環 (理学部附属臨海実験所 修士 1 年)

生態調査と大規模 DNA 分析から絶滅危惧種リュウキュウアユのメタ個体群構造を明らかにする

16:50~17:10 五十嵐 直 (理学部附属臨海実験所 修士 2 年)

ホヤやカイメンに卵を預ける魚における産卵管形態の種間・種内変異と宿主選択

問い合わせ

新潟大学理学部附属臨海実験所 0259-75-2012 (担当: 飯田 碧)